

令和5年度 特別展

埼玉

2023 10.28 (土)

2024 2.25 (日)

シェルワールド

貝からひも解く埼玉の自然



埼玉県立 自然の博物館

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1

TEL 0494-66-0404

埼玉県立自然の博物館

検索



彩の国
埼玉県

開館時間 9:00~16:30 ※入館は閉館30分前まで

休館日 月曜日(祝日は開館)・
12/29(金)~1/3(水)・1/15(月)~1/22(月)

観覧料 一般 200円(団体120円)、
高校・大学生 100円(団体60円)

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方(及び介助者1名)は無料

令和5年度
特別展

埼玉 シェルワールド

貝からひも解く埼玉の自然

2023 10.28(土) - 2024 2.25(日)

貝を含む軟体動物は、5億年以上前に地球上に出現し、深海から高山に至るまで幅広い環境に進出しました。その種類は10万種を超えるとされており、様々な色や形で私たちの目を楽しませてくれます。本特別展では、貝化石から明らかになった太古の埼玉の海や、関東地方に生息する身近な貝たち、貝殻に秘められた驚きの生態を紹介します。海なし県埼玉ならではの“貝の世界”へようこそ。

1 貝のいろは

“貝”とは一般に、巻貝や二枚貝など、殻をもつ軟体動物のことを指します。ここでは、貝という生きものの体のつくりや分類学的な位置づけを解説します。



アサリ (左) とサザエ (右) の貝殻と軟体部

2 貝化石でたどる 埼玉3億年の海

埼玉県では、古生代から新生代まで、様々な時代の海に生きた貝の化石が見つかります。県内で見つかった貝化石を中心に、“失われた埼玉の海”の変遷を辿ります。



グラマトドン ヨコヤマイ



チチブホタテ

3 関東地方の貝

貝は私たちにとって身近な生きものです。埼玉県内の陸貝・淡水貝コレクションをはじめ、関東近海に生息する貝を展示します。



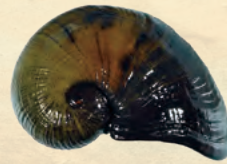
ミスジマイマイ

チチブギセル

ベンケイガイ

4 世界の貝

世界には、驚きの生態をもつ貝や、様々な色や形の貝が生息しています。日常では中々目にする事ができない、個性豊かな貝たちを紹介します。



ウロコフネタマガイ
(国立科学博物館所蔵)



オオイトカケ
(個人蔵)



リュウゴウオキナエビス
(国立科学博物館所蔵)

5 貝と人間生活との関わり

人は古くから、貝を生活の様々な場面で取り入れてきました。私たちの食卓に並ぶ貝や、貝を使った様々な道具を紹介します。



養殖されたホタテガイ



貝紫染めの絹糸 (個人蔵) とアカニシ

— 関連イベント —

◆ 恐竜時代の化石発掘体験

11/25 (土) 13:00~16:00 ※事前申込制 (詳細は当館HP参照)
対象: 小学校3年生以上 参加費: 300円 場所: 自然の博物館 定員: 20名
申込期間: 10/1~11/7

◆ 荒川に眠る“埼玉の海”を訪ねて

12/16 (土) 9:30~12:30 ※事前申込制 (詳細は当館HP参照)
対象: 小学生以上 参加費: 300円 場所: 深谷市 定員: 30名
申込期間: 11/1~11/28

◆ ミュージアムトーク

11/12 (日), 12/24 (日), 2/11 (日)
13:30より担当学芸員による展示解説を行います。
申込み・参加費は不要です。(入館時に観覧料がかかります)

協力(順不同・敬称略) 群馬県立自然史博物館・高知大学・国立科学博物館・さいたま水族館・栃木県立博物館・鳥羽水族館・福井県立恐竜博物館・遠藤超寛・加瀬友喜・堅木令治・近藤康生・齋藤 寛・佐怒賀晴香・高栗祐司・中山健太郎・西 浩孝・長谷川利範・藤巻裕和・房州文字・南谷幸雄・渡辺和章

埼玉県立 自然の博物館

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1 TEL 0494-66-0404

埼玉県立自然の博物館 検索

ACCESS

- 自動車をご利用の場合
関越自動車道 花園ICより、国道140号を秩父方面に20km進み、「上長瀬」の信号を左折して300m
- 電車をご利用の場合
秩父鉄道「上長瀬駅」下車徒歩5分、または「長瀬駅」下車徒歩15分



自然の博物館



X (旧ツイッター)



《表面写真》① チチブホタテ ② ヒオウギガイ (個人蔵) ③ アサガオガイ (群馬県立自然史博物館蔵) ④ リンボウガイ (高知大学蔵) ⑤ ミドリババア ⑥ クマサカガイ (個人蔵) ⑦ ミヤマヒダリマキマイ ⑧ ヨコヤマビカリア ⑨ イタヤガイ (個人蔵) ⑩ プテロトリゴニア ポキリフォルミス

